

令和元年度事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

1 基本方針

今日、我が国は物質的には豊かになったが、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように人を分断する事件・事象も起こっている。

しかし、一人ひとりの存在そのものは、すべてが等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「ひとづくり」を進めるため、「糸賀一雄記念賞」や「先人に学ぶ『福祉しが』人づくり発信拠点事業」を継続実施するとともに、厚生労働省の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」を受託するなどにより、障害者など生きづらさがある人やその家族が安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。

また、「中期経営計画」に基づき、当財団の自主的・主体的な運営の確立に向けて、種々の事業を進めるとともに賛助会員を増やすなどにより財政基盤の強化を目指す。

2 事業計画

(1) 啓発事業

ア 福祉分野以外（企業、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整

イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

(2) 表彰事業

ア 令和元年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集、並びに選考委員会の開催

イ 令和元年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

(3) 財政基盤の強化

賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

(4) 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

ア 県立長寿社会福祉センター内の展示スペースの運営

イ 福祉現場の若手・中堅職員を対象としたワークショップの開催

ウ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

(5) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業の受託

障害福祉従事者、事業経営者が共生社会の基本理念等を学び実践につなげることを目的とした厚生労働省の研修事業を当財団が受託し、研修会の実施を通じて、今の福祉現場で必要とされる「価値観」を語るができる「語り部」を確保・育成する。

(6) 関連事業

糸賀一雄記念賞第十八回音楽祭の実行委員会への参加

(7) 広報事業

財団広報誌の発行やホームページの運営

収 支 予 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,000	2,000	—	
受取会費	320,000	—	320,000	
事業収益	13,582,000	12,165,000	1,417,000	
受取補助金等	9,134,000	9,134,000	—	
受取寄付金	1,500,000	3,000,000	△ 1,500,000	
雑収益	1,000	1,000	—	
経常収益計	24,539,000	24,302,000	237,000	
(2) 経常費用				
事業費	19,599,000	19,828,000	△ 229,000	
管理費	4,940,000	5,024,000	△ 84,000	
経常費用計	24,539,000	24,852,000	△ 313,000	
(うち人件費)	7,553,000	7,852,000	△ 299,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	△ 550,000	550,000	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	—	△ 550,000	550,000	
当期一般正味財産増減 額	—	△ 550,000	550,000	
一般正味財産期首残高	41	1,980,462	△ 1,980,421	
一般正味財産期末残高	41	1,430,462	△ 1,430,421	
II 指定正味財産増減の部				
受取会費	640,000	550,000	90,000	
一般正味財産への振替額	△ 1,820,000	△ 3,000,000	1,180,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 1,180,000	△ 2,450,000	1,270,000	
指定正味財産期首残高	54,377,197	63,817,110	△ 9,439,913	
指定正味財産期末残高	53,197,197	61,367,110	△ 8,169,913	
III 正味財産期末残高	53,197,238	62,797,572	△ 9,600,334	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,000	—	1,000	—	2,000
受取会費	224,000	—	96,000	—	320,000
事業収益	13,582,000	—	—	—	13,582,000
受取補助金等	4,741,000	—	4,393,000	—	9,134,000
受取寄付金	1,050,000	—	450,000	—	1,500,000
雑収益	1,000	—	—	—	1,000
経常収益計	19,599,000	—	4,940,000	—	24,539,000
(2) 経常費用					
事業費	19,599,000	—	—	—	19,599,000
管理費	—	—	4,940,000	—	4,940,000
経常費用計	19,599,000	—	4,940,000	—	24,539,000
(うち人件費)	4,844,000	—	2,709,000	—	7,553,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	—	—
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	—	—
一般正味財産期首残高	41	—	—	—	41
一般正味財産期末残高	41	—	—	—	41
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	448,000	—	192,000	—	640,000
一般正味財産への振替額	△ 1,274,000	—	△ 546,000	—	△ 1,820,000
当期指定正味財産増減 額	△ 826,000	—	△ 354,000	—	△ 1,180,000
指定正味財産期首残高	38,064,038	—	16,313,159	—	54,377,197
指定正味財産期末残高	37,238,038	—	15,959,159	—	53,197,197
III 正味財産期末残高	37,238,079	—	15,959,159	—	53,197,238

資金調達および設備投資の見込みについて

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

平成30年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与するため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰など、諸事業を実施した。

1 表彰に関する事業

(1) 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

募集期間を平成30年5月21日から平成30年7月31日までの期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

(2) 選考委員会の開催

平成30年8月23日（木）AP東京八重洲通りにおいて選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

ア 記念賞 特定非営利活動法人ゆめ風基金（大阪府）

認定NPO法人大阪精神医療人権センター（大阪府）

イ 記念未来賞 ここすまネット（広島県）、難病の制度と支援の谷間を考える会（東京都）

(3) 授賞式・シンポジウム等の開催

ア 日時 平成30年11月1日（木）

イ 場所 びわ湖ホール小ホール

ウ シンポジウム「地域で暮らす～役割と存在を考える～」

エ 受賞者記念スピーチ

2 糸賀一雄記念賞関連事業への協力

関連事業として開催された糸賀一雄記念賞第十七回音楽祭の実行委員会に参加した。

3 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

滋賀県との先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業委託契約に基づき、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行い、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

また、平成30年11月28日には特別養護老人ホーム「ふくら」で、平成31年3月13日には滋賀県立近江学園で福祉現場職員に対し、ワークショップ「語りの場」を開催し研修を行った。

4 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

平成28年7月26日に神奈川県相模原市の障害者支援施設「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を風化させることなく、命の重さと福祉の理念を多くの国民に浸透させるため、厚生労働省主催・当財団受託により「共生社会フォーラム」を埼玉県、福岡県、北海道、岡山県、滋賀県の全国5会場で実施した。

5 啓発事業

啓発冊子ブックレット「ほほえむちから」や糸賀一雄紹介パンフレットを活用し、糸賀一雄氏の思想の普及啓発に努めた。

正味財産増減計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,009	18,260	△ 16,251
特定資産運用益	87	—	87
受取会費	648,000	558,000	90,000
事業収益	11,658,500	3,019,700	8,638,800
受取補助金等	9,134,000	9,122,000	12,000
受取寄付金	7,800,000	1,018,000	6,782,000
雑収益	29	22	7
経常収益計	29,242,625	13,735,982	15,506,643
(2) 経常費用			
事業費	22,822,232	10,827,865	11,994,367
管理費	5,091,265	5,486,538	△ 395,273
経常費用計	27,913,497	16,314,403	11,599,094
(うち人件費)	7,675,698	6,973,700	701,998
評価損益等調整前当期経常増減額	1,329,128	△ 2,578,421	3,907,549
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	1,329,128	△ 2,578,421	3,907,549
当期一般正味財産増減額	1,329,128	△ 2,578,421	3,907,549
一般正味財産期首残高	△ 597,959	1,980,462	△ 2,578,421
一般正味財産期末残高	731,169	△ 597,959	1,329,128
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	—	87	△ 87
受取会費	648,000	—	648,000
一般正味財産への振替額	△ 8,448,087	△ 1,000,000	△ 7,448,087
当期指定正味財産増減額	△ 7,800,087	△ 999,913	△ 6,800,174
指定正味財産期首残高	62,817,197	63,817,110	△ 999,913
指定正味財産期末残高	55,017,110	62,817,197	△ 7,800,087
III 正味財産期末残高	55,748,279	62,219,238	△ 6,470,959

正味財産増減計算書内訳表

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,406	—	603	—	2,009
特定資産運用益	61	—	26	—	87
受取会費	453,600	—	194,400	—	648,000
事業収益	11,658,500	—	—	—	11,658,500
受取補助金等	6,577,793	—	2,556,207	—	9,134,000
受取寄付金	5,460,000	—	2,340,000	—	7,800,000
雑収益	—	—	29	—	29
経常収益計	24,151,360	—	5,091,265	—	29,242,625
(2) 経常費用					
事業費	22,822,232	—	—	—	22,822,232
管理費	—	—	5,091,265	—	5,091,265
経常費用計	22,822,232	—	5,091,265	—	27,913,497
(うち人件費)	4,520,440	—	3,155,258	—	7,675,698
評価損益等調整前当期経常増減額	1,329,128	—	—	—	1,329,128
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	1,329,128	—	—	—	1,329,128
当期一般正味財産増減額	1,329,128	—	—	—	1,329,128
一般正味財産期首残高	△ 597,959	—	—	—	△ 597,959
一般正味財産期末残高	731,169	—	—	—	731,169
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	453,600	—	194,400	—	648,000
一般正味財産への振替額	△5,913,661	—	△2,534,426	—	△8,448,087
当期指定正味財産増減額	△5,460,061	—	△2,340,026	—	△7,800,087
指定正味財産期首残高	43,972,038	—	18,845,159	—	62,817,197
指定正味財産期末残高	38,511,977	—	16,505,133	—	55,017,110
III 正味財産期末残高	39,243,146	—	16,505,133	—	55,748,279

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	776,207	490,998	285,209
未 収 金	9,072,000	643,669	8,428,331
流 動 資 産 合 計	9,848,207	1,134,667	8,713,540
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	54,103,110	61,903,110	△ 7,800,000
基 本 財 産 合 計	54,103,110	61,903,110	△ 7,800,000
(2) 特 定 資 産			
定 期 預 金	878,000	878,087	△ 87
特 定 資 産 合 計	878,000	878,087	△ 87
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	1	1	—
電 話 加 入 権	36,000	36,000	—
その他固定資産合計	36,001	36,001	—
固 定 資 産 合 計	55,017,111	62,817,198	△ 7,800,087
資 産 合 計	64,865,318	63,951,865	913,453
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	8,000,000	—	8,000,000
未 払 金	1,105,839	1,672,107	△ 566,268
預 り 金	11,200	60,520	△ 49,320
流 動 負 債 合 計	9,117,039	1,732,627	7,384,412
負 債 合 計	9,117,039	1,732,627	7,384,412
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
寄 付 金	54,981,110	62,781,197	△ 7,800,087
電 話 加 入 権	36,000	36,000	—
指 定 正 味 財 産 合 計	55,017,110	62,817,197	△ 7,800,087
(うち基本財産への充当額)	(54,103,110)	(61,903,110)	(△ 7,800,000)
(うち特定資産への充当額)	(878,000)	(878,087)	(△ 87)
2 一 般 正 味 財 産	731,169	△ 597,959	1,329,128
正 味 財 産 合 計	55,748,279	62,219,238	△ 6,470,959
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	64,865,318	63,951,865	913,453